

令和4年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会議事録

令和4年5月10日(火)17時00分より、東京都港区港南4-5-7、国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館 多目的スペースにおいて定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	2,516名
総社員の議決権の数	2,516個
出席社員数(委任状による者を含む。)	1,620名
この議決権の総数	1,620個

(上記の会場での出席)

出席代表理事	金子豊二
出席理事	佐野元彦、廣野育生、吉崎悟朗

(Web会議システムによる出席)

出席理事	潮 秀樹、大嶋雄治、落合芳博、木村暢夫、 越塩俊介、小島隆人、澤山茂樹、中田 薫、 野田幹雄、平塚聖一、八木信行、山下 洋、 横山芳博
出席監事	杉田治男、舞田正志、野澤知世

以上のとおり出席があったので、定款の規定により議長として、坂本 崇氏が推薦、承認された。坂本 崇氏は議長席につき、Web会議システムは、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認され、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣言した。金子豊二会長の挨拶の後、議事に入った。

第1号議案 令和3年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

議長は、令和3年度(自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日)における事業状況の説明を総務担当理事に求め、廣野育生は事業報告により詳細に説明報告した。

続いて議長は、令和3年度における貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録についての説明を財務担当理事に求め、佐野元彦が附属書類により詳細に説明し、その承認を求めたところ、出席者の過半数の賛成により、これを承認可決した。

第2号議案 令和4・5年度役員(理事及び監事)選任の件

議長は、定款第 24 条の規定により本総会終結時をもって理事及び監事の全員が任期満了となるため、総務担当理事に理事及び監事選任について説明を求め、廣野育生は定款、役員候補者選出規程並びに総会における役員の選出手続きに関する申し合わせにもとづいて詳細に説明した。その後、理事及び監事選任手続きに入り、1 名ずつ理事及び監事選任の審議が行われ、出席者の過半数の賛成により、下記のとおり可決確定した。

役員候補者選出規程第 2 条第 1 項に係る理事候補者

潮 秀樹、廣野育生、佐野元彦、落合芳博、東海 正、小島隆人、中田 薫、河村知彦、山下 洋、大嶋雄治が選任された。征矢野 清は上記 10 名の補欠の理事として選出された。

役員候補者選出規程第 2 条第 2 項に係る理事候補者のうち、北海道支部担当 木村暢夫が選任された。川合祐史は補欠の理事として選出された。

東北支部担当 栗田 豊が選任された。片山知史は補欠の理事として選出された。

関東支部担当 八木信行が選任された。高橋一生は補欠の理事として選出された。

中部支部担当 奥村卓二が選任された。平塚聖一は補欠の理事として選出された。

近畿支部担当 澤田好史が選任された。家戸敬太郎は補欠の理事として選出された。

中国・四国支部担当 有瀧真人が選任された。池島 耕は補欠の理事として選出された。

九州支部担当 吉田照豊が選任された。酒井正博は補欠の理事として選出された。

役員候補者選出規程第 2 条第 1 項に係る監事候補者のうち、佐藤秀一、良永知義が選任された。阪倉良孝は補欠の監事として選出された。

役員候補者選出規程第 2 条第 6 項に係る監事候補者のうち、野澤知世が選任された。

報告事項 別添資料に基づき、次のとおり報告があった。

- (1) 総務担当理事廣野育生が令和 4 年度事業計画について報告した。
- (2) 財務担当理事佐野元彦が令和 4 年度正味財産増減予算書及び正味財産増減予算書内訳表について報告した。

議長は議事録作成者として出席理事の中から金子豊二を指名した後、以上をもって Web 会議システムを用いた本総会は終始異状なく議案の審議等を終了した旨を述べ、18 時 00 分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録作成者がこれに署名または記名押印する。

令和 4 年 5 月 10 日

令和 4 年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会

議 長 印

議事録作成者
代表理事（会長） 印